

卒業必修		保育士必修		幼稚園教諭必修		選択	
授業科目名： 子どもと健康 ナンバリング：2320		教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目		単位数：1単位 (半期) 演習		担当教員名：金美珍 担当形態：単独	
科 目／系 列		領域及び保育内容の指導法に関する科目 ／保育の内容・方法に関する科目					
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目		領域に関する専門的事項 ・健康 ／保育内容の理解と方法					
授業の到達目標及びテーマ							
1. 領域「健康」のねらい及び内容を理解し、子どもの健康な姿とその発達について理解できる。 2. 幼児の安全な生活と怪我や病気の予防を理解できる。 3. 幼児の運動発達の特徴と意義を理解できる。							
授業の概要							
健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基盤となる知識、技能を身に付ける。具体的には、幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達等において、幼児期には大人と違った特徴や意義があることを踏まえ、その相違が指導方法にも関連していることについて理解する。							
授業計画				授業時間外の学習			
第1回：乳幼児期の健康問題（健康の定義と乳幼児期の健康の意義） 第2回：乳幼児期の健康問題（乳幼児を取り巻く生活環境と健康） 第3回：乳幼児期の身体的発達の特徴 第4回：乳幼児期の生理的機能の発達 第5回：乳幼児期の生活習慣の獲得 第6回：乳幼児期の生活リズムの形成とその意義 第7回：幼児の安全教育と危険（リスクとハザード） 第8回：子どもの安全への意識や態度を育むことの重要性和安全管理 第9回：幼児期に起こりやすい怪我や事故の特徴 第10回：応急処置の基礎及び病気の予防 第11回：乳幼児期の運動能力の特徴（運動コントロール能力の発達） 第12回：乳幼児期の運動能力と特徴（多様な動きの意味及び両者の関係） 第13回：日常生活における運動 第14回：遊びとしての運動 第15回：子どもにとっての遊びとして行う運動の在り方 定期試験：筆記				・豊かな暮らしが子どもの発達にどう影響しているかについて、プラス面とマイナス面の双方から考え、まとめ、授業時に提出する。（1時間） ・健康的な生活リズムについて、子どもたちにわかりやすく伝えられる絵本や紙芝居、ペープサート等の教材を作成して、授業時に提出する。（1時間） ・保育の内容としてふさわしい伝承遊びを挙げ、その意義、遊び方についてまとめ、授業時に提出する。（1時間）			
授業の方法 講義。レポートや課題にコメントをしてフィードバックする。							
テキスト							
『幼稚園教育要領』（最新版）、『保育所保育指針』（最新版） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版） 『保育者をめざす保育内容（健康）』 『子どもの元気を取り戻す保育内容「健康」』（池田裕恵（編）、杏林書院）							
参考書・参考資料等							
『保育と幼児期の運動あそび』（岩崎洋子他、萌文書林）							
学生に対する評価							
定期試験の成績（50%）、授業への取り組み・討論への貢献度（30%）、レポート（20%）。 ルーブリックを活用し、総合的に評価する。							
履修上の注意							
・授業にあたっては事前事後の学習を行い、グループでの演習には積極的に取り組むこと。 ・レポートや課題提出は、期限を守ること。							
実務経験の有無		無		実務経験			
実務経験を活かした教育内容							